

◆瑞宝双光章

元水戸公共職業
安定所長

谷島 光吉さん
(84歳・細田)



昭和34年、下館公共職業安定所に配属。県雇用保険課長などを経て、平成9年に水戸公共職業安定所長として退職されるまでの38年間、安定した雇用機会の確保に尽力されました。「求職者の希望に合った就職を実現するのは、難しくもやりがいのある仕事でした。続けることができたのは、家族の支えがあったることと、大変感謝しています」。

◆瑞宝小綬章

元筑西広域市町村圏
事務組合消防正監

大和田 邦一さん
(70歳・関本中)



昭和49年、筑西広域消防本部結城消防署に配属。平成25年に消防本部消防長として退職されるまで、39年間に亘り卓越した知識と永年の経験をもとに、防災・救助活動や後進育成など幅広い分野に尽力されました。「栄えある章をいただき、大変うれしく思います。病気一つせず職務を全うできたのは、家族の支えのおかげと感謝しています」。

◆藍綬褒章

(公社)全国病院理学
療法協会副会長

青柳 利之さん
(61歳・門井)



昭和56年、(公社)全国病院理学療法協会に入会、平成30年に同協会の副会長に就任。学会や講演会を開催し医学知識と技術の研鑽に努めるとともに、医療、介護及び福祉領域における自立支援に貢献されています。「名誉ある章を賜り大変光栄です。これもみなさんのおかげと感謝しています。今後も先輩からの教を後輩へと受け継ぎ、医療の発展に尽力していきます」。

◆瑞宝単光章

元埼玉県警部

坂寄 富一さん
(72歳・女方)



昭和43年、埼玉県警察に採用。刑事や防犯の部門で活躍され、警部として退職されるまでの38年間、地域の安全を支えてきました。「この度の受章を大変光栄に思います。良き上司や仲間からのご指導はもちろん、何より支えてくれた家族に感謝しています。今後は、地域の安全と安心なまちづくりのため、地域貢献活動に尽力していきます」。

◆瑞宝双光章

元公立中学校長

赤荻 利夫さん
(72歳・辻)



昭和47年に教職に就き、竹島小、下館南中、下館中の校長を歴任して平成22年に退職。平成26年から市教育委員会教育長を務め、学校教育や地域の教育振興に貢献されました。「豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもたちや市民のみなさんのご支援、ご協力のおかげであると感謝しています。これからもみなさんの役に立てるよう尽力していきます」。

◆県特別功労賞表彰

プロレーシング
ドライバー

野尻 智紀さん
(33歳・犬塚)



6歳でレーシングカートに出会い、17歳のとき全日本カート選手権で優勝。2021年には、全日本SUPER FORMULA選手権で年間シリーズチャンピオンを戴冠。2022年もシリーズチャンピオンを獲得し、見事連覇を達成しました。「この度の受彰を大変うれしく思います。子どもたちに夢を与える存在になれるよう、今後も努力していきます」。

◆県功績者表彰

筑西市消防団
副団長

枝 孝弘さん
(67歳・木戸)



昭和55年、郷土愛護の精神から関城町消防団に入団。令和3年からは、筑西市消防団副団長として団員を統率しています。平成19年に起きた関城地区の工場火災では、団幹部として指揮を執り、被害を最小限に食い止めました。「家族の支えがあってこそこの受彰と感謝しています。今後は人とのつながりを大切に、地域貢献活動に尽力していきます」。

◆県功績者表彰

NPO法人筑西ファミリーサ
ポートセンターまんま代表理事

箱守 まり子さん
(70歳・関館)



平成25年に「筑西ファミリーサポートセンターまんま」を立ち上げ、子育て支援や子どもの成長を地域で支える取組みに、10年間尽力してきました。「受彰をとっても光栄に思います。家族に支えられ、スタッフにも恵まれて続けてこれた大変感謝しています。私たちの活動を必要としてくれる人がいるので、今後も精力的に続けていきたいです」。

秋の叙勲・褒章

令和4年「秋の叙勲・褒章」が発表されました。永年にわたって各分野の発展に尽力され、その功績が認められたみなさんをご紹介します。

茨城県功績者表彰